

令和2年度 森林総合研究所九州・四国地域公開講演会

配信期間：令和2年12月1日（火）～令和3年11月30日（火）

配信場所：YouTube（森林総研チャンネル）

テーマ：「植えた樹を鹿から守る」

令和2年度は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止のため、会場での開催は中止とし、YouTubeを利用した講演動画の配信を行いました。

講演

○九州支所長 陣川 雅樹

植えた樹をシカから守るために

我が国の森林・人工林は主伐期を迎え、皆伐と再造林が進められる一方で、再造林地におけるシカによる食害等も年々増加しており、効果的なシカ被害対策が林業における喫緊の課題となっています。森林総合研究所では、せっかく植えた苗木をシカの被害から守るため、様々な研究開発に取り組んできました。今回は、その研究成果の一部を紹介するため、5題の発表を行います。

○九州支所森林生態系研究グループ主任研究員 野宮 治人

単木保護資材を利用したスギ苗の保護

シカ被害対策として、苗木を1本1本筒状の資材で保護する単木保護資材について、施工地の調査からその特徴をまとめました。スギ苗は施工後3～4年で半数以上が単木保護資材の高さを超えており、筒の中でも順調に樹高成長していました。一方で、先端が筒の外に出た後でシカ被害が多く発生していました。どの程度の被害が発生するかは、シカの生息数や餌となる植物の質や量に影響を受けると考えられます。

○四国支所森林保育管理チーム長 大谷 達也

皆伐地の食痕でシカの多少を推定する

シカ生息地において再造林を成功させるには、あらかじめシカの多少を判定して有効な対策を講じる必要があります。そこで、特別な機械や技術を使わず、皆伐地の外周部においてシカの食痕を見つけて点数をつけることによって、シカの多少を推定する方法を開発しました。この方法では食痕のある植物種が1種なのか2種以上かを見分けるだけなので、植物名についての知識は必要ありません。

○九州支所森林生態系研究グループ主任研究員 山川 博美

多点調査でみる防鹿柵の破損とシカ被害

シカ被害対策として一般的に用いられる防鹿柵について、柵の破損、苗木の被害、シカの痕跡の有無について調査しました。その結果、設置された防鹿柵の約6割で穴開きや倒壊などの破損がみられ、急傾斜地や沢・谷を含む造林地では約9割で破損がみられました。また、植栽木への被害の程度は、シカの痕跡（食痕、糞、足跡など）の有無と関係があり、痕跡からシカ被害を予測できる可能性があります。

○野生動物研究領域長 岡 輝樹

シカ被害対策グレードアップ術

防鹿柵はシカ被害を防除する資材として一般的ですが、被害を完全に防ぐことは難しいのが現状です。全国約1,200の事例調査の結果、シカの多少と立地環境に適した被害対策を選択し、柵の破壊につながる気象要因やシカ以外の動物による干渉にも耐えられる対策がグレードアップにつながるようになりました。単木保護資材やブロックディフェンスなど新しい方法もありますが、森林総合研究所としては状況に応じた適切な被害対策を提案できるよう、これからも研究を進めていきます。

YouTube JP

検索

ホーム
探索
登録チャンネル
ライブラリ
履歴

動画の評価、コメント、チャンネル登録を行うにはログインしてください。

ログイン

BEST OF YOUTUBE

音楽
スポーツ
ゲーム

【令和2年度九州・四国地域公開講演会】講演1 植えた樹をシカから守るために
森林総研チャンネル
12:55

【九州・四国地域公開講演会】演題2 単木保護資材を利用したスギ苗の保護
森林総研チャンネル
20:01

【九州・四国地域公開講演会】演題3 皆伐地の食痕でシカの多少を推定する
森林総研チャンネル
17:18

【九州・四国地域公開講演会】演題4 多点調査でみる防鹿柵の破損とシカ被害
森林総研チャンネル
21:36

【九州・四国地域公開講演会】演題5 シカ被害対策グレードアップ術
森林総研チャンネル
21:14

【令和2年度九州・四国地域公開講演会】植えた樹を鹿から守る
5本の動画・1,633回視聴・最終更新日: 2020/11/30

FFPRI 森林総研チャンネル
チャンネル登録

再生リスト (1,633 回視聴)



講演 1 (陣川)



講演 2 (野宮)



講演 3 (大谷)



講演 2 (山川)



講演 5 (岡)